



尚志育英

教育目標

- 心身の健康
- 知性の伸長
- 人格の尊重

令和4年度 第3号 (令和4年10月発行)

〒989-5351 宮城県栗原市栗駒中野愛宕下 1-3

TEL : 0228-45-2266

FAX : 0228-45-2267

Email : iwagasakikou@od.myswan.ed.jp

HP : <https://iwagasakikou.myswan.ed.jp>

岩ヶ崎高校は、建学の精神「尚志育英」(志の高い若者を育てる)のもと、調和ある人間形成を目指して、知識や技能の習得はもちろん、様々な行事を通じて多角的な視点を養い、知性や情操を育てていきます。



学校 HP

岩ヶ崎高校 伝統の三大行事の紹介です

球技大会

7月14日(木)・15日(金)の2日間、栗駒アリーナを会場に球技大会が開催されました。新型コロナウイルス感染症予防対策を万全におこないクラス対抗でバドミントン、バレーボール、バスケットボール、フットサル、ポッチャ、お楽しみリレーの6種目で熱戦が繰り広げられました。各クラス、オリジナルのTシャツをそろえ、心をひとつにして競技し、大変盛りあがった大会となりました。



岩高祭

8月26日(金)・27日(土)の2日間、岩高祭が開催されました。This is the fantastic time ~青春の1ページ~を今年度のテーマとしてかけ、同居家族2名までの制限はありましたが、3年ぶりに一般公開がおこなわれました。内容は、各文化部・クラスによる垂れ幕作成展示や吹奏楽部・合唱部・軽音楽部のステージ発表、美術部、科学部や各クラスの展示・発表(3年生は模擬店)、JRC 委員によるウクライナ支援の募金活動もおこなわれました。開祭式・前夜祭、校内発表、一般公開、閉祭式・後夜祭と晴天にも恵まれ思い出深い岩高祭となりました。



健康強歩大会

10月14日(金)穏やかな秋晴れのもと、40年を超えて続く伝統行事、健康強歩大会が開催されました。紅葉が深まりつつある岩ヶ崎、鶯沢地区22kmを参加生徒全員が6時間の制限時間内で完歩することができました。沿道からは保護者や地域の皆さんから「頑張ってる」の声援をいただきました。ゴール後はPTAの方々の企画「豚汁」の提供と「お楽しみ抽選会」で多いに盛り上がりました。ご声援、ご支援ありがとうございました。



HLAB MIYAGI-ONAGAWA 2022

「世界と出会い、自分と出会う1週間 サマーキャンプ」が牡鹿郡女川町で8月11日(木)から15日(月)までおこなわれました。本校から2年生高橋美遙さん(栗駒中出身)と3年生狩野柚花(栗原西中出身)さんの2名が参加しました。狩野さんは「様々なバックグラウンドを持つ人との交流の大切さを学び、新しい自分と出会うことができました」、高橋さんは「人生のターニングポイントになりました」と貴重な体験を積むことができたことと熱く語ってくれました。岩高はこれからも異文化交流を推進します。



美術部 市内六局風景印作成

市内6つの郵便局にゆかりのある風景や名所を描いた風景印(風景入りの消印)を美術部がデザインしました。このことから7月22日(金)の全校集会の折、郵便局より感謝状が贈呈されました。風景印は切手を貼ったハガキや封筒を郵便局の窓口でお願いし押印(消印)してもらえます。宛先を書かずに「記念押印」もできます。



岩高探究ツアー～ 第一弾 和算へGO!

和算(わさん)とは日本で独自に発達した数学です。特に江戸後期には和算ブームが起きましたが、明治以降西欧数学が輸入されてからは使われなくなりました。しかし、現在、その素晴らしい文化や内容が再評価されています。実は栗原、一関地区は江戸時代、和算隆盛の地で、沢山の算額(額に和算の問題や解法が記され神社等に奉納されたもの)が存在します。7月16日(土)16名の生徒が和算を探究しようということで一関博物館の和算講座を受講しました。

さらに、10月16日(日)には一関市赤萩にある観音寺で和算の歴史に触れながら算額を見学し書かれている問題を解く経験をしました。参加者は教科横断的な学びを通して視野を広げることができた探究ツアーとなりました。



岩高探究ツアー～ 第二弾 荒砥沢へGO!

平成20年6月に発生した岩手・宮城内陸地震。日本最大級の荒砥沢の地滑りの崩落現場を見学し、これからの災害に対する備えを探究した岩高探究ツアー第二弾を8月10日(水)に希望者23名で実施しました。崩落現場見学後、栗駒山麓ジオパークビジターセンターに移動し、ジオガイドから内陸地震の概要の説明を受け、防災・減災を考えるよい機会になりました。

